令和６年度

学生便覧

大阪大学理学部

令和6(2024)年度　理学部　行事予定表

		月	日(曜)	大学・全学共通教育	理学部
春～夏学期	春学期	4	1(月)		新入生学部別履修指導(理学部／D403・D501講義室)
				[共通教育科目] 履修希望(抽選)登録開始 春～夏学期、春学期、夏学期開講科目(～4/4 12時)	[理学部科目]※新入生優先登録期間はKOAN掲示にて通知 履修登録開始(4/1 9時30分～4/19 16時30分) 春～夏学期、春学期、夏学期開講科目
			2(火)	入学式	
			3(水)	新入生定期健康診断(4/3～4/5)	
				教職課程ガイダンス(教員免許取得希望者のみ)	
			8(月)	[共通教育科目] 履修希望(抽選)登録結果閲覧開始(4/8 9時) 春～夏学期、春学期、夏学期開講科目	
				[共通教育科目] 履修追加登録(先着順)開始(4/8 11時～4/17 13時) 春～夏学期、春学期、夏学期開講科目	[他学部科目] 履修希望登録開始(4/8 15時～4/17 13時) 春～夏学期、春学期、夏学期開講科目
			10(水)	春～夏学期(～9/30)、春学期(～6/11)授業開始	
			23(火)	[共通教育科目] 履修取消期間開始(4/23 9時30分～4/30 16時30分) 春～夏学期、春学期開講科目	[理学部科目・他学部科目] 履修取消期間開始(4/23 9時30分～4/30 16時30分) 春～夏学期、春学期開講科目
		5	1(水)	いちょう祭準備、大阪大学記念日　※授業休業	
			2(木)	いちょう祭(5/2、5/3)　※授業休業	
			4(土)	いちょう祭片付け　※授業休業	
		6	4(火)	試験実施期間　春学期開講科目(6/4～6/7, 6/11)※6/11は月曜日の振替試験実施日	
					[理学部科目] 変更登録期間開始(6/4 9時30分～6/25 16時30分) 夏学期開講科目
	夏学期		12(水)	夏学期(～9/30)授業開始	
				[共通教育科目] 変更登録期間開始(6/12 9時30分～6/18 16時30分) 夏学期開講科目	[他学部科目] 変更登録期間開始(6/12 9時30分～6/18 16時30分) 夏学期開講科目
			26(水)	[共通教育科目] 履修取消期間開始(6/26 9時30分～7/2 16時30分) 夏学期開講科目	[理学部科目・他学部科目] 履修取消期間開始(6/26 9時30分～7/2 16時30分) 夏学期開講科目
		7	31(水)	試験実施期間　春～夏学期、夏学期開講科目(7/31～8/2, 8/6, 8/7)※8月7日は月曜日の振替試験実施日	
		8	8(木)	夏季休業(～9/30)	
		9	1(日)	[共通教育科目] 成績閲覧開始　春～夏学期、春学期、夏学期開講科目	[理学部科目] 成績閲覧開始　春～夏学期、春学期、夏学期開講科目
			2(月)	[共通教育科目] 履修希望(抽選)登録開始(～9/11 13時)秋～冬学期、秋学期、冬学期開講科目	
			13(金)		[理学部科目] 履修登録開始(9/13 9時30分～10/14 16時30分) 秋～冬学期、秋学期、冬学期開講科目
			24(火)	[共通教育科目] 履修希望(抽選)登録結果閲覧開始(9/24 9時) 秋～冬学期、秋学期、冬学期開講科目	[他学部科目] 履修希望登録開始(9/24 13時～10/8 13時) 秋～冬学期、秋学期、冬学期開講科目
				[共通教育科目] 履修追加登録(先着順)開始(9/24 9時30分～10/8 13時) 秋～冬学期、秋学期、冬学期開講科目	
秋～冬学期	秋学期	10	1(火)	秋～冬学期(～3/31)、秋学期(～12/2)授業開始	
			15(火)	[共通教育科目] 履修取消期間開始(10/15 9時30分～10/21 16時30分) 秋～冬学期、秋学期開講科目	[理学部科目・他学部科目] 履修取消期間開始(10/15 9時30分～10/21 16時30分) 秋～冬学期、秋学期開講科目
		11	1(金)	大学祭準備　※授業休業	
			2(土)	大学祭(～11/4)　※授業休業	
			4(月)	大学祭片付け　※授業休業	
			20(水)	試験実施期間　秋学期開講科目(11/20, 11/21, 11/26, 11/29, 12/2)	
			27(水)		[理学部科目] 変更登録期間開始(11/27 9時30分～12/16 16時30分) 冬学期開講科目
	冬学期	12	3(火)	冬学期(～3/31)授業開始	
				[共通教育科目] 変更登録期間開始(12/3 9時30分～12/9 16時30分) 冬学期開講科目	[他学部科目] 変更登録期間開始(12/3 9時30分～12/9 16時30分) 冬学期開講科目
			17(火)	[共通教育科目] 履修取消期間開始(12/17 9時30分～12/23 16時30分) 冬学期開講科目	[理学部科目・他学部科目] 履修取消期間開始(12/17 9時30分～12/23 16時30分) 冬学期開講科目
			28(土)	冬季休業(～1/5)	
		1	17(金)	大学入学共通テスト準備　※授業休業	
			28(火)	試験実施期間　秋～冬学期、冬学期開講科目(1/28～1/30, 2/5, 2/7)　※2/5は月曜日の振替試験実施日	
		3	1(土)	[共通教育科目] 成績閲覧開始　秋～冬学期、秋学期、冬学期	[理学部科目] 成績閲覧開始　秋～冬学期、秋学期、冬学期
			3(月)	[共通教育科目] 在学生履修希望(抽選)登録開始(～3/17 13時)	

注）大学入学共通テスト前日は、教室整備等の実施準備のため、授業は臨時休業日となります。
また、大学入学共通テスト当日、大阪大学個別学力検査等当日(前日)は、試験実施並びに教室整備等の実施準備のため、理学部棟への入館が制限されます。
このことについては、日程等が決定され次第、掲示によりお知らせします。
注）履修登録・取消期間等に関する最新情報は、都度、掲示によりお知らせします。

令和６(2024)年度　理学部　学年暦

○数字：ターム科目授業日　**試**：ターム科目試験日　○数字：セメスター科目授業日　試：セメスター科目試験日

月/曜	日	月	火	水	木	金	土
2024年		学部別履修指導 1	入学式 2	3	4	5	6
	7	8	9	①① 10	①① 11	①① 12	13
	14	①① 15	①① 16	②② 17	②② 18	②② 19	20
4月	21	②② 22	②② 23	③③ 24	③③ 25	③③ 26	27
	28	昭和の日 29	③③ 30				
				いちょう祭準備 1	いちょう祭 2	憲法記念日 いちょう祭 3	みどりの日 いちょう祭片付け 4
	こどもの日 5	振替休日 6	④④ 7	④④ 8	④④ 9	④④ 10	11
5月	12	③③ 13	⑤⑤ 14	⑤⑤ 15	⑤⑤ 16	⑤⑤ 17	18
	19	④④ 20	⑥⑥ 21	⑥⑥ 22	⑥⑥ 23	⑥⑥ 24	25
	26	⑤⑤ 27	⑦⑦ 28	⑦⑦ 29	⑦⑦ 30	⑦⑦ 31	
							1
	2	⑥⑥ 3	⑧試⑧ 4	⑧試⑧ 5	⑧試⑧ 6	⑧試⑧ 7	8
	9	⑦⑦ 10	⑧試⑧※ 11	①⑨ 12	①⑨ 13	①⑨ 14	15
6月	16	①⑨ 17	①⑨ 18	②⑩ 19	②⑩ 20	②⑩ 21	22
	23	②⑩ 24	②⑩ 25	③⑪ 26	③⑪ 27	③⑪ 28	29
	30	**※6月11日は月曜日の振替授業・試験実施日**					
		③⑪ 1	③⑪ 2	④⑫ 3	④⑫ 4	④⑫ 5	6
	7	④⑫ 8	④⑫ 9	⑤⑬ 10	⑤⑬ 11	⑤⑬ 12	13
7月	14	海の日 15	⑤⑬ 16	⑥⑭ 17	⑥⑭ 18	⑥⑭ 19	20
	21	⑤⑬ 22	⑥⑭ 23	⑦⑮ 24	⑦⑮ 25	⑦⑮ 26	27
	28	⑥⑭ 29	⑦⑮ 30	⑧試試 31			
		※8月7日は月曜日の振替授業・試験実施日					
					⑧試試 1	⑧試試 2	3
	4	⑦⑮ 5	⑧試試 6	⑧試試※ 7	8	9	10
8月	山の日 11	振替休日 12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	26	27	28	29	30	31
	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
9月	15	敬老の日 16	17	18	19	20	21
	秋分の日 22	振替休日 23	24	25	26	27	28
	29	30					

月/曜	日	月	火	水	木	金	土
2024年			①① 1	①① 2	①① 3	①① 4	5
	6	①① 7	②② 8	②② 9	②② 10	②② 11	12
	13	スポーツの日 14	③③ 15	③③ 16	③③ 17	③③ 18	19
10月	20	②② 21	④④ 22	④④ 23	④④ 24	④④ 25	26
	27	③③ 28	⑤⑤ 29	⑤⑤ 30	⑤⑤ 31		
						大学祭準備 1	大学祭 2
	文化の日 大学祭 3	振替休日 大学祭 4	大学祭片付け 5	⑥⑥ 6	⑥⑥ 7	⑤⑤ 8	9
11月	10	④④ 11	⑥⑥ 12	⑦⑦ 13	⑦⑦ 14	⑥⑥ 15	16
	17	⑤⑤ 18	⑦⑦ 19	⑧試⑧ 20	⑧試⑧ 21	⑦⑦ 22	勤労感謝の日 23
	24	⑥⑥ 25	⑧試⑧ 26	⑦⑦※ 27	28	⑧試⑧ 29	30
		※11月27日は月曜日の振替授業実施日					
	1	⑧試⑧ 2	①⑨ 3	①⑨ 4	①⑨ 5	①⑨ 6	7
	8	①⑨ 9	②⑩ 10	②⑩ 11	②⑩ 12	②⑩ 13	14
12月	15	②⑩ 16	③⑪ 17	③⑪ 18	③⑪ 19	③⑪ 20	21
	22	③⑪ 23	④⑫ 24	④⑫ 25	④⑫ 26	④⑫ 27	28
	29	30	31				
2025年				元日 1	2	3	4
	5	④⑫ 6	⑤⑬ 7	⑤⑬ 8	⑤⑬ 9	⑤⑬ 10	11
	12	成人の日 13	⑥⑭ 14	⑥⑭ 15	⑥⑭ 16	試験準備 17	大学入学共通テスト 18
1月	大学入学共通テスト 19	⑤⑬ 20	⑦⑮ 21	⑦⑮ 22	⑦⑮ 23	⑥⑭ 24	25
	26	⑥⑭ 27	⑧試試 28	⑧試試 29	⑧試試 30	⑦⑮ 31	
		※2月5日は月曜日の振替授業・試験実施日					
							1
	2	⑦⑮ 3	4	⑧試試※ 5	6	⑧試試 7	8
2月	9	10	建国記念の日 11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	天皇誕生日 23	振替休日 24	個別学力検査 25	26	27	28	
							1
	2	3	4	5	6	7	8
3月	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	春分の日 20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					

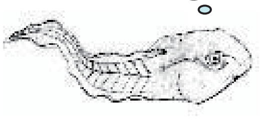
（薄い灰色）・・・土・日・祝日及び休業日を示す。

（濃い灰色）・・・大学行事による臨時休業及び入試のための臨時休業日（予定）を示す。

春学期：４月　１日 ～ ６月１１日　　秋学期：１０月　１日 ～ １２月　２日
夏学期：６月１２日 ～ ９月３０日　　冬学期：１２月　３日 ～　３月３１日

理学部学生便覧 *Quick Guide*

合格
うれしい!



理学部の教育理念　P. 2

勉学の心構え　P. 3

どんな科目があるのか？　P. 4

詳しいカリキュラム　P. 17, 29, 41, 56, 59

履修上の注意　P. 16, 28, 39, 53

教職課程について　P. 74

他学部・他学科の科目　P. 9

４学期制　P. 75

Ｑ＆Ａ　P. 12, 26, 37, 51, 72

入学から卒業まで

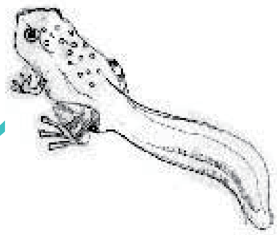
う～ん!

各種届け出　P. 76

証明書など　P. 15, 77

転科・転部　P. 8

だんだん
わかってきたぞ！



健康と怪我　P. 81, 82

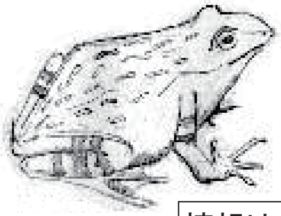
困ったときの相談は？　P. 82～86

図書室・情報処理室・国際交流サロン　P. 93, 94

授業料と免除制度　P. 86, 87, 88

奨学金　P. 89, 90

卒業、
やった！



卒業に必要な単位　P. 18, 30, 42, 57, 60

規則全般　P. 97～149

情報はウェブにも　P. 95

目　　　　　次

設 立 と 沿 革 …… 1

理学部の教育理念 …… 2

理学部教育プログラム

１．理学部における教育体系 …… 4

２．専門基礎教育科目 …… 5

３．卒業に必要な単位数一覧 …… 6

４．注意事項

１）クラス編成 …… 8

２）専門教育科目の選択科目の単位 …… 8

３）転　科 …… 8

４）転　部 …… 8

５）履修手続について …… 8

６）不正行為について …… 9

５．知的能動性をはぐくむ理学教育 …… 10

６．理数オナープログラムについて …… 10

７．学部生による大学院科目の履修制度 …… 10

８．グレード・ポイント・アベレージ（ＧＰＡ）制度について …… 11

９．Ｑ＆Ａ …… 12

学科別履修指針

数　学　科 …… 16

物 理 学 科 …… 28

化　学　科 …… 39

生物科学科 …… 53

教育職員免許状取得について …… 74

理学部の学生として知っておくこと

１．４学期制と授業時間 …… 75

２．在学中の異動等 …… 76

３．届け出・証明書等

１）願 ・ 届 …… 76

２）証明書等 …… 77

３）証明書自動発行機について …… 77

４）学生証の再交付について …… 77

５）諸願届書式 …… 78

４．履修登録について …… 79

５．理学部開講の授業・試験欠席の取り扱いについて …… 80

６．健康・傷害関係
１）健康診断 ･･ 81
２）キャンパスライフ健康支援・相談センター｢健康管理部門｣ ････････････････････････ 81
３）学生教育研究災害傷害保険について ････････････････････････････････ 81
７．学生相談
１）学生相談員（理学部・理学研究科） ････････････････････････････････ 82
２）なんでも相談室（理学部・理学研究科） ･･････････････････････････････ 83
３）基礎工学＆理学キャンパスライフ支援室「カウンセリングルーム樹里（じゅり）」･･･ 83
４）就職担当教員（理学部・理学研究科） ･･･････････････････････････････ 83
５）キャリア支援室（理学部・理学研究科） ･･････････････････････････････ 83
６）留学生相談室（理学部・理学研究科） ･･･････････････････････････････ 84
７）ハラスメント相談員（理学部・理学研究科） ････････････････････････････ 84
８）キャンパスライフ健康支援・相談センター「相談支援部門」（全学） ････････････････ 85
９）キャンパスライフ健康支援・相談センター「ハラスメント相談室」（全学） ･･････････ 86
10）キャリアセンター ･･ 86
８．授業料納入 ･･ 86
９．入学料免除・授業料免除等について ･････････････････････････････････ 87
10．日本学生支援機構奨学金（外国人留学生を除く）について〈貸与・給付〉･･････････････ 89
11．地方公共団体及び民間奨学団体奨学金（外国人留学生を除く）について･･････････････ 89
12．大阪大学学寮の追加募集について ･･････････････････････････････････ 90
13．気象警報の発表時等における授業の取扱いについて ････････････････････････ 91
14．理学研究科・理学部建物への入館 ･･････････････････････････････････ 92
15．図書・情報・国際交流等
１）理学研究科情報資料室 ･･ 93
２）情報処理室 ･･･ 94
３）国際交流サロン ･･ 94
４）化学実験用学生ロッカー ･･････････････････････････････････････ 94
16．理学部ホームページ ･･･ 95
17．大学の休業日 ･･ 95
18．学内集会と学内団体結成 ･･････････････････････････････････････ 95
19．海外渡航届システム ･･･ 96

付録

◎大阪大学学部学則 ･･ 97
◎大阪大学全学共通教育規程 ･･････････････････････････････････････ 112
◎理学部規程（科目一覧） ･･･････････････････････････････････････ 114
◎担当教員名簿 ･･ 151
◎理学研究科・理学部建物配置図 ････････････････････････････････････ 156

設立と沿革

History of School of Science

1931 年大阪大学が発足すると同時に，理学部は医学部とともに創設されました。国の経済的支援が得られなかったにもかかわらず，模倣的工業からの脱皮には，当時の表現で言う「基礎的純正理化学」が必須であるという先見的認識を地元大阪がもち，設立のための寄付金や基金により，理学部が設立されました。発足当初は数学，物理学，化学科の三学科でしたが，その後，生物学科，高分子学科，宇宙・地球科学科が加わり現在の規模になりました。

1966 年に理学部は大阪市内から現在の豊中市へ移転しました。より広い敷地と新しい環境で理学部は世界的規模の業績を数多く挙げてきました。

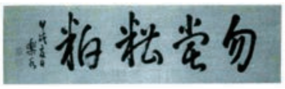
1996 年には理学部が大きく変化することになりました。理学部の全ての教員が大学院である理学研究科の教員になったのです。これは大学における学術研究がさらに高度化し，大きく国際社会へ貢献できるよう，大学院を中核とした研究・教育組織に理学部を作り替えたということです。授業をはじめとした理学部の活動は大学院の教員が行っているのです。

2004 年には国立大学が法人化されました。大学や部局での活動の自由度があがった中で，理学部では独自の教育改革に積極的に取り組んできました。

研究と教育を重視して今日まで歩んできた理学部は数多くの業績を挙げ，世界的に著名な研究者を数多く輩出してきました。また理学部と関係するいくつもの研究施設と協力して教育・研究にあたっています。研究の最前線にいる教員たちにしかできない教育をしてきているのです。

独創性がサイエンスの根本です。人が思い付かないこと，人のできないことをやる。そのために理学部は学生の皆さんの一人一人が知的好奇心を育て，真理探究の喜びを味わえるような教育を目指しています。

下の写真は理学部本館大講義室（D501）に掲げられている書です。阪大の初代総長の長岡半太郎がしたためたものですが，「勿嘗糟粕（そうはくをなむるなかれ）」と書かれています。糟粕（そうはく）とは酒の搾りかすのことで，転じて滋味をとりさった不用物，精神のない遺物を意味します。糟粕をなめるなとはつまり，二番煎じの研究をするな，独創性を追求せよ，という意味です。



皆さんが理学部の歴史に参加してくれることが，私たち理学部教員の願いです。サイエンスは長距離レース。それも一人の走者ではなく，数多くの人間が繰り広げるバトンリレー。サイエンスの歴史は人類の歴史とともにあります。この輝かしい功績を持つリレーに今日から参加して，私たちが手渡すバトンをしっかり受け取ってください。そしていつの日にか，そのバトンを次の走者に渡してください。

理学部の教育理念

理学は, 真理探究を目的としたすべての自然科学の基盤であり, 今日の科学技術を支える礎です。このような考え方に基づき, 理学部では皆さんが以下の能力を身につけることを教育理念としています。

1．幅広い自然科学の基本にもとづく柔軟な発想

2．自然に対する鋭い直観力と的確な判断

3．科学の素養を基礎にして社会に貢献できる能力

そのために，低学年で「専門基礎教育科目」を学び，理学の基礎を身につけてから，理学部各学科の専門科目を学びます。以下のメッセージが理学部長と各学科から皆さんに寄せられています。

理学部長からのメッセージ

理学部・理学研究科は，真理の探究を目的として，知の創造に取り組んでいます。皆さんは，四年間の学びを通じてそのための基盤を築いてください。まず，1年次には数学, 物理学, 化学, 生物学, 地学の基礎となる科目を学び，理学を学ぶ者として必要な幅広い自然科学の基礎を身につけます。これらの科目は全ての学科の皆さんが共通に修得すべきものです。また社会がより高度化・複雑化する中で，皆さんが社会で活躍するためには, 自然科学に関わる知識や技術だけではなく，文系・理系の枠を超えて幅広い視野を育むための教養, 及びグローバル社会を生き抜くための国際性，そして社会の中で責任ある成人としての人間性が求められます。そのために「教養教育系科目」や「国際性涵養教育系科目」についてもしっかりと取り組むと共に, 分野を超えた人々との交友関係を持ってください。基礎的な学問を身につけた後には, 各学科が提供するより高度な専門科目を学ぶことで，皆さんが目指したい具体的な目標が見えてくるかと思います。理学を学び、理学を楽しむことで，自然に対する興味や理解の窓口を広げ, 大きく羽ばたいていくことを願っています。

各学科からのメッセージ

Mathematics　数学は，自然現象や社会現象から，その構造的側面を抽出して研究する学問です。ガリレオ・ガリレイは，「自然という書物は数学の言葉で書かれている」と述べています。これは自然現象を記述するとき，数学的な捉え方が大変有効であることを述べたものでしょう。歴史的には，例えば微積分法とニュートン力学のように，数学が他の自然科学と一体となって発達した時代もありました。現在では，数学は独自の問題意識を有する独立した学問体系ですが，当然ながらその素材は物理学，化学，生物学，地学と深いところでつながっています。この意味でこれらの分野の基礎的な素養は，人生を豊かにするのみならず，数学の勉学においても大変有意義なものとなります。授業を手掛かりに，大いに学び，大いに楽しんでください。

Physics　物理学は，様々な自然現象の根幹をなす基本法則を追究する学問です。常に基本的なところから考えることにより，物理学の発見が，数学・化学・生物学・宇宙地球科学の新しい分野をも生みだしてきました。このことからも，物理学は理学の他の分野と大変深いところでつながっていることが分かるでしょう。物事の根本を追究する物理学の考え方はすべての科学技術の基礎になっています。物理学科では，基礎から応用にいたる学力をしっかりと身につけられるよう，講義・演習・実験・特別研究などを提供していますので，これらの学問の基礎をしっかりと体得してください。

Chemistry　化学は，物質の構造，性質，反応，ならびにそれらを支配する法則性や，新しい物質の合成法を研究する学問です。そのような化学の研究を通じて，物質の機能やそのしくみ，生命現象を含む自然界の様々な現象を，電子，原子，分子レベルから理解し，新しい学問分野を開拓することが可能になります。この分野で活躍するために，皆さんはまず，「科学のことば」と「科学的な考え方」を身につけなければなりません。化学はもちろん数学，物理学，生物学を含む広い範囲の基礎を学び，専門を深めていってください。講義，演習，実験など様々な形態の授業が用意されており，４年次には研究室で特別研究を行うことになります。理学部創設以来の自由で独創性を大切にする環境で，自然に対する感性を磨き，感動を経験して大きく飛躍してください。

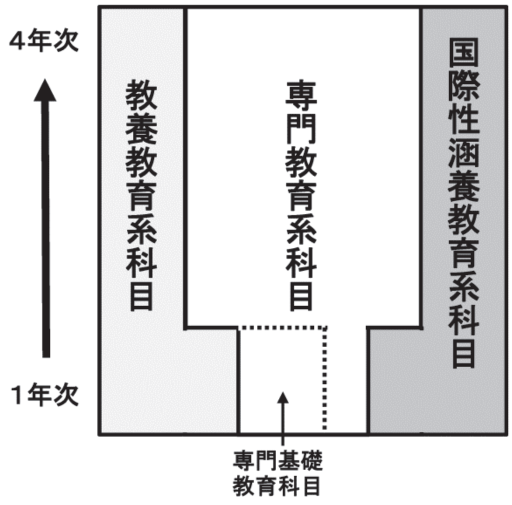
Biology　アリストテレスを始祖とすると，生物学には2300年の研究の歴史がありますが，そのうちの 2250 年は黎明期です。生物学が現代科学の仲間入りを果たして，数学，物理学，化学の「ことば」によってみずからを語ることができるようになったのは，ごく最近の出来事です。そして 21 世紀に入って生物学は爆発的な拡大を見せつつあり，他の学問分野との境界がどんどん見えなくなって来ました。生物学がいったいどこへ行こうとしているのか，現在の時点からは見えないこともあります。こういうときだからこそ理学の基礎をしっかり学んでほしい。生物学がこれからもわくわくした気持ちを持ち続けるためには，生物学を志す人間が，生物学だけでなく，数学，物理学，化学という基礎理学の「ことば」をきちんと身につけていることが重要です。

理学部教育プログラム

１．理学部における教育体系

理学部では，異分野の人ともコミュニケーションができる教養を身につけるための「教養教育系科目」，理学全般の広い素養と各専門分野における研究内容の本質を理解できる能力を身につけるための「専門教育系科目」，およびグローバル化社会に貢献できる語学力と国際性を身につけるための「国際性涵養教育系科目」を履修し，厳格な学修成果の評価方法により単位認定します。

授業は大きく分けて①全学教育推進機構（共通教育）で開講する科目と，②理学部や他学部等で開講する科目があります。教養教育系科目と専門教育系科目の中の専門基礎教育科目，および低学年の国際性涵養教育系科目は全学の教員が協力して授業を担当し，全学教育推進機構で開講しています。各学科の専門教育科目は理学部が担当します。全学教育推進機構（共通教育）で開講する科目については，入学した年度の「全学共通教育科目　履修の手引き」を参照してください。



<u>教養教育系科目</u>

・学問への扉
・アドヴァンスト・セミナー
・基盤教養教育科目
・高度教養教育科目
・情報教育科目
・健康・スポーツ教育科目
・コミュニケーションデザイン科目

<u>専門教育系科目</u>

・専門基礎教育科目
・数学科の専門教育科目
・物理学科の専門教育科目
・化学科の専門教育科目
・生物科学科の専門教育科目

<u>国際性涵養教育系科目</u>

・マルチリンガル教育科目
・高度国際性涵養教育科目
・国際交流科目

２．専門基礎教育科目

専門基礎教育科目は，数学・物理学・化学・生物学・地学などの理学全般の広い素養を身につけ，広い視野に立った理学の基礎を学ぶために提供されている科目です。各学科の専門教育科目は，この専門基礎教育科目からスムーズに接続されるように構成されています。

理学部専門基礎教育科目

分野	科目名	単位数	数学科	物理学科	化学科	生物科学科				
						生物科学コース	生命理学コース			
							数学	物理	化学	生物
統計学	統計学B−Ⅱ	2				◎			◎	◎
	統計学C−Ⅰ	2		○	○		○	○		
	統計学C−Ⅱ	2		○	○		○	○		
数学	基礎解析学・同演義Ⅰ	3	◎	◎			◎注5	◎注5		
	基礎解析学・同演義Ⅱ	3	◎	◎			◎注5	◎注5		
	基礎解析学Ⅰ	2			◎	◎			◎注5	◎注5
	基礎解析学Ⅱ	2			◎	◎			◎注5	◎注5
	線形代数学・同演義Ⅰ	3	◎	◎			◎注5	◎注5		
	線形代数学・同演義Ⅱ	3	◎	◎			◎注5	◎注5		
	線形代数学Ⅰ	2			◎	◎			◎注5	◎注5
	線形代数学Ⅱ	2			◎	◎			◎注5	◎注5
物理学	力学入門	2	○注1		※注3	※注3	※注3		※注3	
	力学通論	2								
	力学詳論Ⅰ	2		◎				◎		
	力学詳論Ⅱ	2	○		○	○	○		○	○
	電磁気学入門	2	○注2		※注4	※注4	※注4		※注4	
	電磁気学通論	2								
	電磁気学詳論Ⅰ	2		◎				◎		
	電磁気学詳論Ⅱ	2	○		○	○	○		○	○
	熱学・統計力学要論	2	○							
	基礎物理学実験	1	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
化学	化学基礎論 A	2	○		◎	◎			◎注6	◎注6
	化学基礎論 B	2	○		◎	◎			◎注6	◎注6
	化学基礎論 C	2		◎			◎注6	◎注6		
	化学基礎論 D	2		○			○注6	○注6		
	基礎化学実験	1	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
地学	宇宙地球科学Ⅰ	1	○	◎	○	○	○	○	○	○
	宇宙地球科学Ⅱ	1	○	○	○	○	○	○	○	○
	基礎地学実験	1	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
生物学	生物学序論	2	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	生物学詳論	2	○	○	○	○	○	○	○	○
	基礎生物学実験	1	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
必要単位数		必修・選択必修	12	23	22	24	24	24	24	24
		選択	13	2	3	0	0	0	0	0
		合計	25	25	25	24	24	24	24	24

◎・・・「必修科目」（必ず履修するように指定された科目）
※・・・「選択必修科目」（付された条件に従い選択して修得しなければならない科目）
○・・・「選択科目」（選択して履修することができ，修得すれば「専門基礎教育科目」の単位として算入される科目）

履修要件

※印（および複数科目に一つの○印）を付した科目の履修方法

注1～注4の「物理選択者」とは，大阪大学入学者選抜試験（一般選抜（個別学力検査及び大学入学共通テスト），特別入試，総合型選抜・学校推薦型選抜）において物理を選択した者，「物理非選択者」とは，物理を選択しなかった者を指す。

数学科の履修について

注1　・物理選択者は「力学通論」または「力学詳論Ⅰ」のいずれか1科目を選択。物理非選択者は「力学入門」を選択。

注2　・物理選択者は「電磁気学通論」または「電磁気学詳論Ⅰ」のいずれか1科目を選択。物理非選択者は「電磁気学入門」を選択。

化学科・生物科学科生物科学コース，生命理学コースの履修について

注3　・物理選択者は「力学通論」または「力学詳論Ⅰ」のいずれか１科目を選択必修。物理非選択者は「力学入門」を必修。

注4　・物理選択者は「電磁気学通論」または「電磁気学詳論Ⅰ」のいずれか１科目を選択必修。物理非選択者は「電磁気学入門」を必修。

生物科学科生命理学コースの履修について

注5 ・数学推奨科目選択希望者もしくは物理推奨科目選択希望者は「基礎解析学・同演義Ⅰ」，「基礎解析学・同演義Ⅱ」，「線形代数学・同演義Ⅰ」，「線形代数学・同演義Ⅱ」を修得すること。また，化学推奨科目選択希望者もしくは生物推奨科目選択希望者は「基礎解析学Ⅰ」，「基礎解析学Ⅱ」，「線形代数学Ⅰ」，「線形代数学Ⅱ」を修得すること。

【途中で推奨科目を変更する場合】

・「基礎解析学・同演義Ⅰ」，「基礎解析学・同演義Ⅱ」，「線形代数学・同演義Ⅰ」，「線形代数学・同演義Ⅱ」を修得済みの数学推奨科目選択希望者もしくは物理推奨科目選択希望者が，化学もしくは生物に推奨科目を変更する場合，それぞれ「基礎解析学Ⅰ」，「基礎解析学Ⅱ」，「線形代数学Ⅰ」，「線形代数学Ⅱ」の単位を修得したことと同等とする。ただし，変更後の1科目の単位数は２単位とみなし，余りの１単位は卒業要件にはならない。

注6 ・化学推奨科目選択希望者もしくは生物推奨科目選択希望者は「化学基礎論 C」または「化学基礎論 D」を修得しても卒業要件単位とはならないため注意すること。
同様に，数学推奨科目選択希望者もしくは物理推奨科目選択希望者は「化学基礎論 A」または「化学基礎論 B」を修得しても卒業要件単位とはならないため注意すること。

【途中で推奨科目を変更する場合】

・「化学基礎論 A」及び「化学基礎論 B」の両方を修得した場合は「化学基礎論 C」及び「化学基礎論 D」の両方を修得したことと同等とする。
同様に，「化学基礎論 C」及び「化学基礎論 D」の両方を修得した場合も「化学基礎論 A」及び「化学基礎論 B」の両方を修得したことと同等とする。
「化学基礎論 A」または「化学基礎論 B」のいずれか１科目のみを修得した場合は「化学基礎論 C」または「化学基礎論 D」のいずれか１科目を修得したことと同等にはならないので注意すること。

３．卒業に必要な単位数一覧

学科・専攻等	教養教育系科目										専門教育系科目					国際性涵養教育系科目								自由選択 D	総卒業要件単位数（A+B+C+D）
	学問への扉	アドヴァンスト・セミナー	基盤教養教育科目				情報教育科目	健康・スポーツ教育科目	高度教養教育科目	計 A	専門基礎教育科目	専門教育科目			計 B	マルチリンガル教育科目						高度国際性涵養教育科目	計 C		
			人文科学系	社会科学系	自然科学系	総合型						必修科目	選択必修科目	選択科目		第１外国語科目		第２外国語科目	選択外国語科目	グローバル理解科目	計				
																総合英語	実践英語								
数学科	2	―	6（ただし「自然科学系」科目は，卒業要件外とする）				2	2	2	14	25	38	－	24	87	6	2	3	―	2	13	2	15	8	124
物理学科	2	―	6（ただし「自然科学系」科目は，卒業要件外とする）				2	2	2	14	25	44	8	12	89	6	2	3	―	2	13	1	14	8	125
化学科	2	―	6（ただし「自然科学系」科目は，卒業要件外とする）				2	2	2	14	25	32	14	26	97	6	2	3	―	2	13	2	15	2	128
生物科学科（生物科学コース）	2	―	6（ただし「自然科学系」科目は，卒業要件外とする）				2	2	2	14	24	23	40	4	91	6	2	3	―	2	13	2	15	5	125
生物科学科（生命理学コース）	2	―	6（ただし「自然科学系」科目は，卒業要件外とする）				2	2	2	14	24	12	38	17	91	6	2	3	―	2	13	2	15	5	125

<u>教養教育系科目</u>（P. 126 参照）

「学問への扉」

１科目２単位以上を修得する必要があります。

「アドヴァンスト・セミナー」

必修科目ではありませんが，修得した単位は, 自由選択の単位になります。

「基盤教養教育科目」

人文科学系，社会科学系，総合型の科目の中から，６単位以上を修得する必要があります。

「情報教育科目」

「情報科学基礎」の２単位が必修です。

「健康・スポーツ教育科目」

「スポーツ実習Ａ」（１単位）を含む２単位以上を修得する必要があります。なお,「スポーツ実習Ａ」の他の１単位は,「スポーツ科学」（１単位),「健康科学実習Ａ」（１単位）および「健康科学」（１単位）から選択してください。

「高度教養教育科目」

次の授業科目のうちから，２年次秋学期以降に選択履修し，２単位以上を修得しなければなりません。所属学科により高度教養教育科目の必修科目が指定されている場合があります。２単位を超えて修得した場合は，自由選択の単位になります。以下の授業科目を２年次夏学期以前に修得したとしても，卒業要件の単位にはなりません。

・各学科が指定する高度教養教育科目（P. 127～128 参照）

・理学部他学科及び他コースが開講する専門教育科目

・他学部等が高度教養教育科目として提供する科目で理学部が指定する科目　※

・全学教育推進機構が開講する高度教養教育科目　※

・コミュニケーションデザイン科目で理学部が認める科目　※
※対象科目については，ＫＯＡＮ掲示にてお知らせします。

専門教育系科目（P. 129 参照）

各学科が定めている「専門基礎教育科目」および各学科が開講している「専門教育科目」の必要な単位数を修得する必要があります。２年次秋学期以降に修得した他学科や他コースの専門教育科目の単位は，「高度教養教育科目」の単位になります。

国際性涵養教育系科目（P. 149 参照）

「マルチリンガル教育科目」

・第１外国語：理学部に配当される科目の中から，総合英語６単位以上，実践英語２単位以上，計８単位以上を修得しなければなりません。
・第２外国語：「ドイツ語」「フランス語」「ロシア語」「中国語」の理学部に配当される科目の中から，１つの外国語を選択し，選択した外国語の授業科目から３単位以上修得しなければなりません。上級クラスを修得した場合は，自由選択の単位になります。第２外国語の単位にはなりません。
・グローバル理解：理学部に配当される科目の中から２単位以上修得しなければなりません。
・外国人留学生は，第２外国語に「日本語」を選択することができます。
・英語を母国語とする外国人留学生は，第１外国語の「総合英語」，「実践英語」の理学部に配当される科目の中から３単位以上，第２外国語の「日本語」の理学部に配当される科目の中から３単位以上，グローバル理解の「多文化コミュニケーション１」の理学部に配当される科目の中から２単位以上，計８単位以上を第１外国語として修得することができます。また，第２外国語には，「ドイツ語」，「フランス語」，「ロシア語」，「中国語」のうち，理学部に配当される科目の中から１つの外国語を選択し，履修することができます。
・国際科学特別プログラムに所属する学生の皆さんはプログラムの規定に従って履修してください。

「高度国際性涵養教育科目」

次の授業科目のうちから，２年次秋学期以降に選択履修し，各学科が定めている単位数（１単位もしくは２単位以上）を修得しなければなりません。所属学科により高度国際性涵養教育科目の必修科目が指定されている場合があります。必要単位を超えて修得した場合は，自由選択の単位になります。以下の授業科目を２年次夏学期以前に修得したとしても，卒業要件の単位にはなりません。

・各学科が指定する高度国際性涵養教育科目（P. 150 参照）
・他学部が高度国際性涵養教育科目として提供する科目で理学部が指定する科目　※
・国際交流科目のうち，理学部が認める科目　※

※対象科目については，ＫＯＡＮ掲示にてお知らせします。

なお，「理系科学英語夏期海外研修」は，３・４年次に履修・修得すれば「高度国際性涵養教

育科目」または「専門教育科目」，１・２年次に履修・修得すれば「専門教育科目」の単位として認定されます。

総卒業要件単位数について

教養教育系科目の必要単位数Ａ，専門教育系科目の必要単位数Ｂ，国際性涵養教育系科目の必要単位数Ｃを修得した上で，更に自由選択の単位数Ｄは，教養教育系科目，専門教育系科目，国際性涵養教育系科目の中から多めに単位を修得し，総卒業要件単位数（Ａ ＋ Ｂ ＋ Ｃ ＋ Ｄ）を満たす必要があります。

４．注意事項

１）クラス編成

低学年配当の「教養教育系科目」と「国際性涵養教育系科目」は，理学部に配当されている科目の中から原則として履修選択希望登録に基づき，履修クラスが決まります。「専門教育系科目」の受講に関しては，基本的には学科単位のクラス編成となります。

２）専門教育科目の選択科目の単位

専門教育科目の選択科目としては，各学科専門教育科目編成表に記載されている専門教育科目の中から必要な単位数以上を修得します。

３）転科

入学後の大学の勉学を通して，専門分野を再考して，理学部内での学科変更（転科）を希望する学生は，秋～冬学期終了時に行われる転科試験（筆記・口頭試問と面接）を受ける必要があります。試験は転科希望先の学科毎に行われます。筆記試験は，主に転科希望先の専門基礎教育科目の内容から出題されますが，学科・コースにより卒業に必要な専門基礎教育科目が異なる場合があり，４年で卒業できない可能性もあります。合否は試験の成績と専門基礎教育科目の１年次の成績とを総合して決めます。詳細な試験実施要項は 10 月頃に掲示されます。

４）転部

転部を希望する学生は，理学研究科学務係に相談してください。

５）履修手続について

履修にあたっては，定められた手続きにしたがって履修科目の申請及び登録を行わなければなりません。

① 履修しようとする授業科目の履修手続きは，春～夏学期と秋～冬学期の各学期始めにあります。それぞれ指定された登録期間内にパソコン等の Web ブラウザを使用し，学務情報システム「ＫＯＡＮ」で履修登録を行ってください。登録期間やその他詳細については掲示によりお知らせしますので，その指示や内容を確認し，必ず登録期限までに履修手続きを行ってください。

② 授業科目の中には年度途中に開講する等により，登録期間が各学期の始めではない場合もあります。また，ＫＯＡＮで履修登録を行わない授業科目もあります。これらの科目の履修手続きについても掲示等でお知らせしますので，その指示や内容を確認し，所定の履修手続きを行ってください。

③ 学期の途中で，履修登録した授業科目を取り消したい場合は，学期ごとに定められた履修取消期間に，当該科目の履修登録を取り消すことができます。履修取消期間については，掲示等でお知らせします。定められた期間外に，履修登録した授業科目を取り消すことはできません。

④ 専門基礎教育科目を含む全学共通教育科目の履修手続きは，『全学共通教育科目履修の手引』記載の「履修手続」の項及び掲示等にしたがってください。

⑤ 他学科及び他学部科目，国際交流科目及びコミュニケーションデザイン科目の履修手続きについても，掲示等で特に指示がない限り，ＫＯＡＮで履修登録を行ってください。ただし，当該授業科目を開講する学部（部局）等の所定の手続きや制限により，履修を認められない場合もあります。開講する学部（部局）の指示を仰ぐか，または授業の際に当該授業科目担当教員に確認してから履修手続きを行ってください。

⑥ 自分の学年より高学年に配当されている授業科目の履修は原則認められません。ただし，各学科の履修相談を担当する教員との相談により，教育上有益な履修であり，かつ当該授業科目の履修に相応しい学力を備えると判断される場合は，履修を認める場合があります。その場合，当該科目の申請登録期限までに，所定の申請用紙を理学研究科学務係に提出してください。

⑦ 大学間相互単位互換協定に基づく科目の履修については，事前に理学研究科学務係に相談してください。

⑧ 履修に必要な学修がなされていないと判断される場合，特定の科目については履修制限等の指導を行うことがあります。これは，当該授業科目を履修するために必要とされる学修（または単位修得）がされていることを前提とする授業科目があるからです。また，教育上有益な科目の履修を奨励することから，他学科や他学部等の科目に対してもその履修制限を課すこともあります。本誌便覧の「各学科履修指針」に記載する内容をよく確認し，計画的に授業科目の履修を行うようにしてください。

６）不正行為について

専門教育科目の筆記試験等において不正行為を行ったものは，その学期の専門教育科目の成績評価が全て無効となります。

５．知的能動性をはぐくむ理学教育

理学部では，本誌便覧で説明されているように質の高い教育を保証する教育カリキュラムが整備されています。しかしながら，大学のような高等教育の場では，受動的な姿勢ではなく自らが積極的に学ぼうとする姿勢が大切となります。

そこで，学生が主体的に学ぼうとする意欲を促すとともに，高いモチベーションを持って学習することができるよう，理学部では，平成 20 年度～平成 22 年度まで，教育ＧＰ「知的能動性をはぐくむ理学教育プログラム」として文部科学省から支援を受け，以下の３種の取り組みを実施しました。

(A)「専門基礎教育科目」と「専門教育科目」をつなぐ科目や実験・実習・演習など，能動性を高める科目「専門へのステップアップ教育」の実施

(B) 学生を主体とした知的能動性を高める取り組み「能動的学生啓発プログラム」の実施

(C) 社会や先端研究を意識させ，能動的に将来展望を描く「キャリアパス・デザイン教育」の導入

理学部では，このような趣旨に基づいた活動を現在も継続していますので，積極的に参加してください。入学時のガイダンスや各種掲示等でアナウンスされます。

６．理数オナープログラムについて

理学部では意欲的な学生を応援するための理数オナープログラムを実施しています。理数オナープログラムは，強い意欲を持つ学生のためのより進んだ内容を学ぶオナーカリキュラムと討論形式の徹底した少人数対話型授業（オナーセミナー）からなっています。オナーセミナーでは，課題設定能力と創造力を身につけるために，自ら設定した課題について自主研究を行います。理数オナープログラム修了者には卒業時に修了証を授与します。社会的活動や研究活動の発信性などを考慮し，特に優秀な修了者は「優秀修了」として表彰します。

理数オナープログラムのホームページ
https://www.sci.osaka-u.ac.jp/ja/honr/

７．学部生による大学院科目の履修制度

理学研究科では，学部生により高度な学びの機会を与え，博士前期課程入学後の早い段階で質の高い研究指導を行うため，意欲的で優秀な学部生を大学院理学研究科科目等履修生として受け入れ，大学院科目（理学研究科開講科目）の履修を可能にする制度があります。

この制度の対象は学部３年次および４年次生ですが，履修を許可されるためには一定の条件をみたす必要があります（専門教育科目・高度教養教育科目・高度国際性涵養教育科目のＧＰＡが 3.00 以上，学科でその必要性が承認される等)。また，履修できる科目や単位数にも制限があります。

詳細は，各学科の履修相談を担当する教員または理学研究科学務係にお問い合わせください。

８．グレード・ポイント・アベレージ（ＧＰＡ）制度について

本学では平成 26 年度学部入学者からＧＰＡ制度を導入しました。ＧＰＡ制度の実施は，学修の状況及び成果を示す指標としてのＧＰＡを算出することにより，学生の学習意欲の向上及び適切な修学指導に資するとともに，教育の国際化を促進することを目的とします。

１）ＧＰについて

成績の評価及び各評価に与えられるＧＰは，以下のとおり定めています。

成績の評価	S (90 点以上)	A (80 点以上 90 点未満)	B (70 点以上 80 点未満)	C (60 点以上 70 点未満)	F (60 点未満)
ＧＰ	4.0	3.0	2.0	1.0	0.0

２）ＧＰＡについて

当該学期におけるＧＰＡ（以下「学期ＧＰＡ」という。）及び全在学期間におけるＧＰＡ（以下「通算ＧＰＡ」という。）があります。学期ＧＰＡ及び通算ＧＰＡを算出する計算式は以下のとおりです。

（ＧＰＡの算出は，小数点以下第３位を切り捨てるものとします。）

【学期ＧＰＡを算出する計算式】

$$\text{学期ＧＰＡ} = \frac{\text{（当該学期に評価を受けた各授業科目で得たＧＰ×当該授業科目の単位数）の合計}}{\text{当該学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計}}$$

【通算ＧＰＡを算出する計算式】

$$\text{通算ＧＰＡ} = \frac{\text{((各学期に評価を受けた各授業科目で得たＧＰ×当該授業科目の単位数)の合計)の総和}}{\text{(各学期に評価を受けた各授業科目の単位数の合計)の総和}}$$

３）ＧＰＡ算出の対象科目について

教養教育系科目，専門教育系科目及び国際性涵養教育系科目のうち，大阪大学学部学則（以下「学部学則」という。）第 10 条の７第２項に基づく試験の成績の評価（以下「成績の評価」という。）を行う授業科目であって，理学部において卒業要件に算入できる授業科目とします。

ただし，次の各号に該当する授業科目については，ＧＰＡの計算から除くものとします。

① 本学在学中に他の大学，専門職大学若しくは短期大学（専門職短期大学を含む。以下同じ），において履修した授業科目又は外国の大学（専門職大学に相当する外国の大学を含む。以下同じ。）若しくは短期大学において履修した授業科目

② 入学前に本学，専門職大学若しくは短期大学において履修した授業科目又は外国の大学若しくは短期大学において履修した授業科目（科目等履修生として履修した授業科目を含む。）

③　本学在学中に大学以外の教育施設等における学修（短期大学又は高等専門学校の専攻科における学修その他文部科学大臣が定める学修）を本学における授業科目の履修とみなし，単位を与えられた授業科目

④　学部学則第 14 条から第 15 条までの規定による編入学等に伴い，本学の授業科目を学修したものと同等以上の学力があると認定された授業科目

⑤　前各号に掲げるもののほか，学部学科が別に定める授業科目

（現在，該当する科目はありません。「将来展望特論Ａ１，Ａ２，Ｂ１，Ｂ２」は合否により評価が行われる科目となるため，ＧＰＡ算出の対象となりません。）

４）「履修取消し」について

履修登録を取り消した授業科目は，学期ＧＰＡ及び通算ＧＰＡの算出から除外します。なお，履修を取り消した授業科目は，ＫＯＡＮでは「W」（Withdrawal）で表示されます。

※本制度の詳細は，「マイハンダイ」に掲載の「大阪大学におけるＧＰＡ制度の導入について　Ｑ＆Ａ」で確認してください。

９．Ｑ＆Ａ

〔科目の分類について〕

Ｑ１　専門基礎教育科目とは何ですか？

Ａ１　専門基礎教育科目は専門教育系科目の一部で，初年次あるいは２年次に各学部・学科で行う専門教育科目の基礎的な部分を学ぶ科目です。理学部に入学した皆さんが専門教育科目を学ぶために必要な基礎を身につけるための大変大切な科目です。粘り強く学んでください。

Ｑ２　教員免許を取得したいのですが…。

Ａ２　理学部では，卒業までに所定の科目を修得すると，中学校・高等学校の「数学」「理科」の免許を取得することができます。詳しくは，大阪大学教育課程委員会が作成する『大阪大学【教職課程ブックレット】１教職課程への招待　教育職員免許状修得ガイド』を参照してください。このブックレットは，４月上旬に開かれる教職課程ガイダンスで配布するほか，理学研究科学務係でも入手可能です。

Ｑ３　私は数学科ですが，理科の教員免許を取ることができますか？（またはその逆）

Ａ３　不可能ではありませんが，他の学科の専門教育科目を教員免許のためだけに履修する必要があり，４年間で数学科の卒業要件単位と理科の教員免許を取得するための単位を修得するのは，難しいかもしれません。詳しくは理学研究科学務係へお問い合わせください。

〔履修について〕

Ｑ１　他学科，他学部の授業科目を履修しようと思いますが，特別な手続きや制限はありますか？

Ａ１　他学科の授業科目を履修する場合，特別な履修手続きは不要です。ＫＯＡＮ等により所定の

履修手続きを行ってください。ただし，当該学科の３年次の実験や４年次の卒業研究にあたる科目などは，履修のための条件がありますので履修することはできません。他学部の授業科目を履修する場合，ＫＯＡＮ等による所定の履修手続きをすることについては他学科の授業科目と同様ですが履修登録期間が専門教育科目と異なり，先着順となります。開講する学部（部局）等の定めるところにより，履修を制限される授業科目があるかもしれません。開講する学部等の指示を仰ぐか，または授業の際に当該授業科目担当教員に確認してから履修手続きを行ってください。「高度教養教育科目」の単位として認定されますが，指定されていない科目は要件外となります。

Ｑ２　P.８，９の「５）履修手続について」の中に，「履修に必要な学修がなされていないと判断される場合，特定の科目については履修制限等の指導を行うことがある」と書かれています。また，「教育上有益な科目の履修を奨励することから，他学科や他学部等の科目はこのような指導を行うこともあります」と書かれています。具体的には，どのような科目を指していますか？

Ａ２　本誌便覧の「各学科履修指針」に記載する「卒業するために必要な単位と条件」をよく確認してください。学科ごとに，３年次の実験や４年次の卒業研究にあたる科目などを履修するための条件が記載されています。自由選択の履修にあたっては，各学科の履修指針等を参照してください。なお，シラバスに条件が記載されている授業科目もありますので注意してください。不明な点がある場合は，各学科の履修相談を担当する教員，身近な教員，あるいは理学研究科学務係に確認・相談を行うようにしてください。

〔転科について〕

Ｑ１　私は現在所属している学科から他の学科に変わりたいのですが…。

Ａ１　まず，身近な教員（講義やゼミの担当教員），担任教員，または学科長に相談するとよいでしょう。転科を希望する場合は，秋～冬学期末に行われる転科試験を受けてください。ただし，学科・コースによりカリキュラムが異なるため，容易ではありません。転科試験に関しては，P.８を参照してください。

〔その他の情報〕

Ｑ１　いろいろな情報はどの掲示板に掲示されるのでしょうか？

Ａ１　全学共通教育関係の情報（講義や休講等の情報）は，主に全学教育推進機構の掲示板に掲示され，理学部関係の情報（奨学金関係や担任による呼び出し等）は，理学部の掲示板に掲示されます。しかし，逆の場合もありますので，両方の掲示板を常に見ておいてください。また，学科独自の掲示板もありますので，所属の学科の掲示板も常に見ておくよう注意ください。なお，ＫＯＡＮの掲示板のみによる掲示も多くありますので，注意してください。

Ｑ２　住所を変更したのですが...。

Ａ２　ＫＯＡＮで新しい住所を登録してください。また，大学から直接連絡する場合もありますので，電話番号やe-mailアドレスも常に最新の情報を登録するようにしてください。

Ｑ３　履修登録はどこでするのでしょうか？

Ａ３　Web ブラウザを使用し，ＫＯＡＮにて履修登録します。学内の理学部情報処理室，及びサイバーメディアセンター豊中教育研究棟，吹田教育実習棟に設置してあるパソコンを利用してください。また，Web ブラウザの利用できる学外のパソコン（個人のパソコン等）からも使用可能です。入学後，履修登録までに配布する大阪大学個人 ID とパスワードをなくさないよう大切に保管してください。

Ｑ４　教育実習へ行っている間は，公欠になりますか？

Ａ４　理学部教授会で，各授業担当教員に対して「教育実習の期間内は授業に配慮していただく」よう，アナウンスをしていますが，扱いとしては公欠になりません。

Ｑ５　休学したいのですが…。

Ａ５　３ヶ月以上連続して修学できない場合は，学部長の承認を得て，その学年の終わりまで休学する事ができます。休学の願い出は，休学を開始する１ヶ月前までに，理学研究科学務係へ提出してください。詳しくはP.76 を参照してください。

Ｑ６　授業料免除・奨学金を受けたいのですが…。

Ａ６　豊中学生センター，または吹田学生センターで申請を受け付けます。申請の時期や方法は，学生掲示板に掲示されますので，常に学生掲示板をチェックしてください。詳しくは，P.87，88 を参照してください。

Ｑ７　悩みを相談したいのですが…。

Ａ７　修学面，生活面，健康面など，日常における様々な悩みについて，理学研究科の教員に相談することができます。各学科の相談員は，P.82 を参照してください。相談は電話でも良いですが，Ｅメール（sodan@sci.osaka-u.ac.jp）でも受け付けていますので，悩み事があればとにかく一度メールしてみてください。

そのほか，授業期間中（月，金曜日を除く）は理学部本館Ｅ棟Ｅ217 室にて「なんでも相談室」を開室しています。

その名のとおり，気軽に「なんでも」相談してください。なんでも相談室は，Ｅメールでも悩み相談を受け付けています。(nandemo@sci.osaka-u.ac.jp)

また，「カウンセリングルーム樹里（じゅり）」では，専門のカウンセラーに相談することができます。詳しくは，P.83 を参照してください。

Ｑ８　大学で怪我をしてしまったのですが…。

Ａ８　学生実験や授業の最中の事故や怪我の場合は，直ちに実験・授業担当の教員に連絡し，指示を仰いでください。

ちょっとした怪我は診療時間内ならキャンパスライフ健康支援・相談センター保健管理部門で処置してもらえます。しかしキャンパスライフ健康支援・相談センター保健管理部門には

確定的な診断や治療に必要なＸ線写真やその他の検査（MRI など）の装置がなく，必要な場合には近くの病院等が紹介されます。
入学手続きの際に学生教育研究災害傷害保険の加入手続き書が配布されていますが，この保険に加入することにより，教育研究活動中に怪我などをした場合，保険金が支払われます。
理学部では，１年次から実験がありますので，必ず全員加入するようにしてください。
キャンパスライフ健康支援・相談センター，学生教育研究災害傷害保険に関する詳しい内容は，P.81 を参照してください。

Ｑ９　台風が来ている場合，授業は休講になりますか？
Ａ９　大阪府「豊中市・吹田市・茨木市・箕面市のいずれか又はこれらの市を含む地域」に「暴風警報」又は「特別警報」が発令された場合，授業は休講になります。詳しくは，P.91，92 を参照してください。

Q10　証明書がほしいのですが…。
A10　学割証，在学証明書，成績証明書，卒業見込証明書，健康診断証明書（定期健康診断受検者のみ）については，全学に設置された証明書自動発行機で出力することができます。就職活動のために，成績証明書の厳封が必要な場合は，出力後，理学研究科学務係の窓口までお持ちください。その場で厳封します。詳しくは，P.77 を参照してください。

Q11　私って卒業できますか？（４年次学生に多い質問）
A11　学科別履修指針にある「卒業所要単位数」表を参照の上，各自で計算してみましょう。不明な点があれば，理学研究科学務係へお問い合わせください。

Q12　レポート課題などで，先輩や同級生のレポートを参考にすることは，どの程度許されるのでしょうか。
A12　レポートは，試験と同じく，個人個人が習得した学力をはかる資料ですから，他人のレポートやネットの記事を写して，自分のレポートとすることはできません。それは，試験のカンニングと同等な不正行為とみなされます。参考として引用することはありえますが，その場合は引用元を明らかにしなくてはなりません。実習や演習などで，グループで協力してレポートを作成することを担当教員が認めている場合にはデータ等を共有することがあります。しかし，その場合も個人で提出する場合は，表現が人によって異なるはずです。自分なりのオリジナルなレポートの作成を心がけましょう。